



うちのイチ押し!

2016 大阪市生涯学習ルームふえすていばる

「来て 見て そして楽しんで!!」

日時 10月30日(日) 10:20~16:00 (10:00開場)

場所 大阪市立総合生涯学習センター

大阪市では、地域における生涯学習の拠点として、市内の小学校の特別教室等を活用して、市民のみなさんの文化・学習活動や講座等の開設を通じた学習機会の提供を図る「生涯学習ルーム事業」を実施しており、今年で28年目を迎えています。

各区の特色あふれる楽しい体験コーナーや区内ルーム事業の取り組み紹介の他、多彩なステージ発表、生涯学習ルームの先進的な取り組みや今後地域で活動する際に役立つ内容を紹介する「わんすてっぷ・フォ〜ラム」、ちょっぴりお祭り気分も味わえる手づくり市など、盛りだくさんな内容を1日でギュギュッと詰め込んで、生涯学習ルーム事業について大いに発信します!

パワフル&ビューティフルそしてソウルフルな生涯学習ルームの世界をぜひ満喫しに来てください!

◎各区による体験・展示

- 各区による様々な体験コーナー
- 区内ルーム取り組み紹介のパネル展示

◎手づくり市

大好評!!今年もやります!!

◎ステージ発表

- 各区ステージ発表
- わんすてっぷ・フォ〜ラム



会場 大阪市立総合生涯学習センター(地下鉄各線・阪神・阪急「梅田」、JR「北新地」「大阪」)

費用 無料(体験コーナー等 一部教材費が必要)

主催 大阪市生涯学習推進員協議会・大阪市教育委員会

問合せ Tel: 6539-3347 (大阪市教育委員会生涯学習担当)



※昨年の「大阪市生涯学習ルームふえすていばる」より



おおさか歴史探訪 106

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

林市蔵先生記念像

— 民生委員制度誕生ゆかりの地 —

この10月で、平成28年熊本地震から半年になります。震災後、筆者も熊本に行き熊本城の被害の様子を見てきました。その折、城の南東側に架かる行幸橋のたもとにある加藤清正公の銅像の横を通り過ぎたとき、その傍らにあるもう一つの銅像を見て、あれ?どこかで見た顔だ、と思いました。銘板を確かめたところ「民生委員の父 林市蔵翁」とあり、そうだったのか、と自分の無学を恥じました。この銅像の林市蔵翁は、官選の第15代大阪府知事で、大阪市役所から歩いてすぐの淀屋橋南詰にも銅像のある人物なのです。

林知事は慶応3(1867)年に熊本藩士の嫡子として生まれましたが、明治維新をむかえ、さらに幼くして父親を失い、生活は決して楽なものではありませんでした。苦学の末に東京帝国大学法学部を卒業して政府官僚となり、大正6(1917)年、大阪府知事に就任しました。大正6年といえは翌年には中之島に新しい公会堂が完成し、大正浪漫をイメージさせる時期ですが、シベリア出兵の影響を受けて物価が高騰し、大正7年8月には大阪でも米騒動が勃発するなど社会情勢は不安定でした。

知事として、こうした騒動の起こる原因を解明しなければ、としてつくられたのが、全国に先駆けて設立された方面委員制度、今日の民生委員制度です。淀屋橋南詰の銅像は、林知事が方面委員制度を誕生させるきっかけとなった、ここにあった行きつけの理髪店の窓から貧しい身なりの夕刊売りの母子が目にとまった時の情景をかたどっています。大阪府知事としての在任期間は2年5ヶ月という短いものでしたが、まもなく100周年を迎える民生委員制度の精神は今も脈々と受け継がれており、熊本出身の大阪の恩人の一人として憶えておきたい人物です。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



淀屋橋南詰の林市蔵先生記念像